

連携で次代を開く

京都の有力企業

NKE

NKEは設備や環境の小さな変化を電子メールやネットワーク通信で知らせる端末「れんら君」を、IoT（モノのインターネット）分野に広げて展開している。「簡単IoT」をキャッチフレーズに、既存設備に後付けで簡単に取り付けでき、情報端末として幅広い分野で活躍が期待できる。

この取り組みを加速させるため、京都府の「チャレンジ・バイ」制度を活用し、今後の展開を一気に押し進めていく構えだ。同制度は京都府内の中小企業の優れた新商品・新サービスを認定・公表・PRし、京都府庁が率先購入・活用枠の設定、販売促進などを支援する制度。認定商品の購入者に対する助成金も用意されている。チャレンジ・バイを皮切りに、京都府との連携を一層強め、IoT分野への浸透を図っていく計画だ。

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

（この欄は画像による視覚的表現が主であり、本文は読み取れません）

京都の連携 成長に直結 2016